



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2019.1

No. 418

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



冬の星空物語と鳥星座

星のソムリエ 村上 将之 (国分寺市)

冬は明るい星々と有名な星座たちが夜空を彩っています。特にオリオン座やおうし座などにはたくさんの1等星が散りばめられ、双眼鏡で眺めているだけでもため息が出てくるほど美しい星域です。きっと綺麗な星空を見に行きたくなります！ そうです、双眼鏡やスコープをその星座たちに向けるだけで、いままで気が付かなかった宇宙旅行に出掛けられるのです！

● 星座にまつわるクイズ

「北半球と南半球を合わせた全天 360 度で、星座はいくつあると思いますか」。

今まで、小学校や生涯学習センターなどの星空観望会で多くの人たちの回答は、150～200 個くらいでした。正解は 88 個です。

では、その 88 星座の中で、「野鳥の名前、もしくは形をした星座はいくつあるでしょうか」。

なんと 9 個もあるのです。全天星座の内、1 割以上が野鳥星座ということになります。それらの野鳥星座たちは、1. はくちょう座、2. わし座、3. からす座、4. はと座、5. つる座、6. ほうおう (鳳凰) 座、7. きょしちょう (巨嘴鳥) 座、8. ふうちょう (風鳥) 座、9. くじゃく座です。

これらの中で名前を聞いたことがある星座は、1. はくちょう座、2. わし座あたりではないでしょうか。これらは七夕のお話に出てくる星座として有名ですね。ちなみに 7. きょしちょう (巨嘴鳥) 座、8. ふうちょう (風鳥) 座、9. くじゃく座は、南半球など南に行かないと見られない星座たちです。

● 代表的な冬の星座の見どころ

まず頭に思い描くのは、やっぱり勇者オリオン座ではないでしょうか。そして、その他にはおうし座、ふたご座、おおいぬ座、ぎょしゃ座といったそうそうたる星座たちが名を連ねています。

なぜそうそうたるかと言うと、いずれの星座もまさにその名の通りの姿かたちをしていて、なおかつ明るい 1 等星がそれぞれの星座の中に含まれているからです。88 星座の中でもひとときわ立派で賑やかな感じがします。ちなみにその明るい 1 等星は全部で 21 個ある

のですが、その内の 7 個も冬の星座に使われています。ここでは、オリオン座とおおいぬ座についてお話しします。



まずは**オリオン座**です。誰もが知っている有名な星座ですね。ギリシャ神話に登場する、こん棒を振りかざしライオンの毛皮を腕にかけた

狩人の姿です。腰ベルトに位置するところには目印になる三ツ星が並んでいて、その周りには明るい 4 つの星が四角形に取り囲み、まるで大きな蝶々が羽を広げているようにも見えます。



このオリオン座の中で是非とも双眼鏡で見たいポイントがあります。それはメシエ 42 という天体番号が付されているオリオン座大

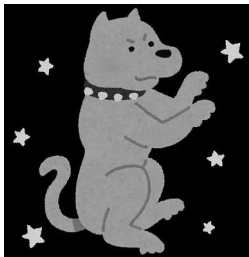
星雲です。赤い鳥が大きく羽を広げたように見える星雲は、天体写真で 1 度はご覧になったことがあるのでは、と思います。ネット環境にある方は「オリオン座大星雲」もしくは「メシエ 42」で検索してみてください。この星雲はとても明るいので、夜空の暗いところ

なら眼視でも見つけることができます。

そして双眼鏡またはスコープをその星雲に向けると、色彩は認識できずにモノクロになりますが、綿菓子のような淡い雲が視野の中に広がっているのが見えます。1～2分経つと目が慣れてきて、鳥が大きく羽を広げた姿に見えてきます。

私はオリオン座大星雲がライチョウまたはチドリ系の姿に見えますが、皆さんはどんな野鳥の姿に見えるでしょうか。もしも色彩まで認識できれば、ベニマシコでしょうか！ この冬はオリオン座大星雲を双眼鏡またはスコープで是非とも観望してみてください。

続いて**おおいぬ座**です。オリオン座の足下の左下の位置に、ちんしたような姿で天空上に描かれています。おおいぬ座を構成し



ている星を線でつなぐと、これまたなるほどワンコというほど見事に犬の形に並んで見えます。このおおいぬ座の口にあたる星はシリウスといい、

全天で1番明るい恒星になります。シリウスは焼き焦がすものという意味で、その明るさはなんとマイナス1.5等星で眩しいほど輝いています。

このシリウスにも双眼鏡を向けてその素晴らしいダイヤモンドのような青白い輝きを堪能して欲しいのです。ちなみにシリウスまでの距離は約8光年。つまり2011年に光った光を見ていることになります。過去の天体の姿を見ていることになるので、これはまさにタイムトンネルですね！

● 冬の鳥星座

野鳥の名前が付いている**からす座**は、1月は明け方の午前4時ごろに南の夜空の見やすい位置に昇ってきます。小さな四辺形(台形)をしたからす座の周辺には明るい星があまりなく、その星の並びは分かりやすくて見つけ



やすい星座です。

からす座のお話はギリシャ神話に音楽や芸能の神アポロンと一緒に登場しています。アポロンは妻をととても愛していて毎日そばにいたいのですが、太陽の神でもあるアポロンは仕事が多くてなかなか会えません。そこで人間の言葉が喋れる1羽の白いカラスを使いにして、2人の間を行き来させてお互いの日々の出来事などを伝えさせていました。ある時、カラスは奥さんが浮気をしていると嘘をつき、怒ったアポロンは矢を引いて妻を殺してしまいました。でも奥さんはお兄さんと会っていただけなのでした。それを知ったアポロンはカラスを真っ黒な色に変え、人間の言葉話す力も取り上げて、ただカァカァと鳴くだけの鳥に変えてしまいました。そのカラスがブトなのかボソなのか、もしも分かったら教えてください。

はと座はおおいぬ座の足下にオリーブの枝をくわえて飛翔している姿で描かれている小さな星座です。星を結んでも、なかなかはとの姿には見えないおとなしくて目立たない星座です。

バードウォッチングで使っている双眼鏡やスコープ、それを冬の星空にも向けて、スターリーバードウォッチング(Starry Birdwatching)も楽しんでみましょう。

新年のご挨拶 - 野鳥の会全国総会から - 日本野鳥の会埼玉代表 海老原美夫

昨年11月9日(土)-10日(日)千葉市内で開催された全国総会に出席しました。48支部から65人、会長・評議員など15人、事務局29人、合計109人が集まり、財団各室からの報告、ブロックや連携団体からの提言・報告などがありました。その中で普及室の報告「探鳥会での事故報告の情報共有」は次の通りでした。

本部の探鳥会保険に報告があった過去10年間27件の事故の傾向を見ると、場所としては下り坂5件、道の段差(木の根や舗装のひび割れなど)5件、階段3件など、内容としては転倒19件、階段・防波堤・斜面で滑落4件など、けがとしては骨折12件、捻挫4件、打撲4件などとのことでした。

年齢性別は、右表の通りです。これらを大雑把に言うと、「60代女性や70代男性が、下

り坂や道の段差などで転倒して骨折などのけがをしたことが多かった」ということになるかもしれませんが、10代でも事故はあるのだとも言えます。何歳でも男女別なく、あらゆる場所で事故が起きる可能性はあると考えるべきでしょう。

今年も年間100回以上の当会探鳥会には、延べ4,000人以上の方々にお集まりいただけていると思います。探鳥会リーダーの皆さんは常に様々な危険の可能性を考え、緊張感をもって目配りを怠りなく、ご参加の皆様も足元や周囲に十分ご注意ください、楽しく野鳥たちを観察して、事故のない1年であることを祈っています。

年齢	男性	女性
80代	2	1
70代	6	1
60代	3	11
50代		
40代	1	
30代		
20代		
10代	1	1

2018 秋・県内各地のシギ・チドリ渡り状況 日本野鳥の会埼玉調査部・IT委員会

当会のHPでは、今年も7月から10月15日まで、県内各地で観察された秋のシギ・チドリの渡り情報を募集いたしました。今年は19種のシギ・チドリ類を観察することができました。夏水たんぼの状態が良かった昨年の25種には及びませんでしたが、内陸を渡って行くシギ・チドリにとっては埼玉も重要な中

継地点となっていることを、あらためて認識することができました。情報を提供していただいた皆様(浅見 徹、井浦寧子、今村富士子、植平 徹、小林みどり、佐藤千砂、佐野和宏、藤澤洋子、星野紫乃 五十音順・敬称略)、ありがとうございます。

(調査部 小林みどり・IT委員会 佐野和宏)

観察地	観察日・期間	観察種 (カッコ内は個体数)
春日部市倉常	7/14-9/1	ムナグロ(9-14)、コチドリ(8-77)、クサシギ(1-3)、タカブシギ(2)、イソシギ(3)
春日部市葦橋	8/11-8/26	ケリ(1)、ムナグロ(1-18)、コチドリ(7-20)、クサシギ(1)
越谷市向畑	10/2・10/3	イカルチドリ(7-10)、アオアシシギ(1)、クサシギ(1)、イソシギ(3)、トウネン(2)
さいたま市大宮区	8/27・8/29	クサシギ(1)、イソシギ(1)
川越市下久戸	7/15-8/30	ムナグロ(1-200+)、コチドリ(2-100+)、イカルチドリ(1)、シロチドリ(1)、タシギ(1)、クサシギ(1)、タカブシギ(1-2)、イソシギ(1)、キアシシギ(1)、ヒバリシギ(1)、エリマキシギ(1)、アカエリヒレアシギ(6)、ツバメチドリ(2)
川越市伊佐沼	8/16-9/13	セイタカシギ(1-13)、コチドリ(4-20)、シロチドリ(1)、オグロシギ(1)、アオアシシギ(2-3)、イソシギ(2)
川越市寺井	8/16・9/11	コチドリ(2-6)、クサシギ(1)、タカブシギ(3)、イソシギ(1)
川島町	7月15日	コチドリ(6)、アオアシシギ(1)
行田市須賀	8/2・9/30	ムナグロ(2)、コチドリ(5-20)、タシギ(5)、タカブシギ(6)、トウネン(5)、オジロトウネン(4)
行田市荒木	8/16-8/26	ケリ(1)、ムナグロ(1-50+)、コチドリ(10-200)、オオジシギ(1)、タシギ(2)、コアオアシシギ(2) アオアシシギ(3-7)、タカブシギ(5-9)、オジロトウネン(1-3)、ヒバリシギ(1-2)、ウズラシギ(1)、セイタカシギ(2)
行田市齋条	9/1-9/30	ムナグロ(10)、コチドリ(9)、タシギ(11)、タカブシギ(2)、イソシギ(1)、ウズラシギ(1)、トウネン(5)、オジロトウネン(3)



野鳥情報

蓮田市根金山ノ神沼 ◇10月1日、イカルチドリ2羽とハクセキレイ6羽（内4羽が幼鳥）が同じ1枚の畑で採餌。他にカルガモ2羽、カイツブリ1羽、チュウサギ4羽、コサギ1羽、モズ（高鳴き）、ハシボソガラス2羽。10月29日、オオタカがカラス10羽＋に追われていた。他にカルガモ20羽、コガモ5羽、カイツブリ1羽、バン1羽、オオバン2羽、カワセミ1羽、モズ高鳴き、ヒヨドリ6羽、ハクセキレイ1羽（長嶋宏之）。◇10月9日、コガモ9羽（関口明宏）。

越谷市下間久里 ◇10月2日、越谷市民の手により1羽の海鳥が保護された。同市環境政策課から連絡を受け、10月5日、搬入先の動物病院へ出向き、シロハラミズナギドリ属のミズナギドリと同定した（下写真）。外傷はなかったものの羽毛の乱れが大きく、種をシロハラミズナギドリと断定するには躊躇する。10月1日未明に関東地方を通過した台風24号の置き土産と思われる（榎本秀和、山部直喜）。



さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇10月4日、元荒川沿いにあるミズキの実にオオルリ、キビタキ、エゾビタキ、コサメビタキがかわるがわるにやってきた。近くでゆっくりと観察できた（内田克二）。◇10月14日、メボソムシクイ1羽、カケス3羽、ツツドリ幼鳥？1羽、カワセミなど。モズが目立つ（鈴木紀雄）。◇10月21日午前10時15分頃、ツツドリ1羽、やや暗がりの枝の上でジツとしていた。下の方に飛び去った

が、その後、2回姿を見せる。2回目は近くに現れたが、こちらに気付いて、すぐに飛び去る。林の奥の方の葉っぱに隠れて黄色がチラチラ、キビタキ♂1羽が飛び出した。近くでキビタキ♀も1羽。カケス鳴くが、姿は見えず。ジョウビタキの声もする。他にシジュウカラ、コゲラ、カワラヒワなど（藤原寛治）。

さいたま市岩槻区久伊豆神社 ◇10月7日午後5時30分頃、神社の森に罫入りするハシボソガラス、ハシボソガラス500～600羽。カラスより少し遅れて同じ森に罫入りするダイサギ、チュウサギ、コサギ100羽＋。イソシギ、セグロセキレイの声（鈴木紀雄）。

北本市子供公園（北本自然観察公園隣） ◇10月7日午前8時～8時40分、サメビタキ、キビタキ、カケスなど。始発電車で石戸宿に行く。自然観察公園を軽く一周の後、子供公園に寄った。去年はエゾビタキがいたが、今年はサメビタキがいた。しばし、じっくりと観察。その間に木の下の方にはキビタキがちょっと顔を出したり、上方をカケスが飛んだりと飽きさせない（大畑祐二）。

越谷市相模町 ◇10月8日午後4時頃、元荒川のしらこぼと橋に近い場所でセイタカシギ1羽（下写真）。餌を探して、洗って食べている様子が見られ、とても愛くるしく、見入ってしまった。セイタカシギの近くには、イソシギやシロチドリも見られた。越谷市でセイタカシギが出たのは、本当に久しぶりということで、親子共に感動した（平田夕香里・楽）。



蓮田市西城沼公園周辺 ◇10月10日、カケス3羽、今季ここでの初認。10月16日、ヤマガラス2羽、今季ここでの初認。ムクドリ

50羽士の群れ。10月17日、久しぶりにエナガ2羽を観察。ツツドリが地面に降りていた(下写真)。10月24日、シメ1羽、今季ここでの初認。10月25日、ツツドリ幼鳥1羽、栗の木で枝移り。10月30日、ジョウビタキ♀がTVのアンテナで鳴いていた。今季ここでの初認(長嶋宏之)。



白岡市千駄野 白岡総合運動公園 ◇10月11日、マガモ♂エク립ス1羽、カルガモ6羽、コガモ♂エク립ス2羽、カイツブリ2羽、キジバト1羽、アオサギ1羽、ダイサギ1羽、コサギ5羽、モズ1羽、ハシボソガラス2羽、シジュウカラ(声)、スズメ3羽、カワラヒワ3羽。10月30日、ヒドリガモ♂30羽、♀31羽、カルガモ4羽、カイツブリ1羽、キジバト2羽、アオサギ1羽、コサギ2羽、オオバン1羽、ヒヨドリ20羽士、カワラヒワ3羽、モズ1羽、高鳴き(長嶋宏之)。

蓮田市黒浜沼 ◇10月14日夕刻、ヨシ原の中から「チャ、チャ、チャ」と3ヶ所でウグイスの声。続いて、「クィクィクィ…」と2ヶ所からアリスイの声が聞こえた。あちこちの木の頂にモズが陣取り、「キチキチキチ…」と縄張りを主張し、よく目立つ(鈴木紀雄)。

桶川市舎人新田調整池 ◇10月15日午前6時20分、マガモ♂3羽(内1羽は換羽中)、今季初認。ゴイサギ多数、コガモ多数、カルガモ少数。計129羽(小貫正徳)。

蓮田市駒崎の田圃 N36.0111 E139.6226
◇10月15日、ノビタキ2羽、10月17日、ホオアカ1羽、10月23日、ミヤマガラス70羽士にコクマルガラスの暗色型が数羽混じっていた。10月24日、ミヤマガラス30羽士。10月25日、ミヤマガラス30羽士(関口明宏)。

〈はみ出し行事案内〉

**千葉県銚子市・銚子漁港探鳥会
(要予約)**

期日：**3月2日(土)**
 集合：午前7時、東武春日部駅東口。
 解散：午後7時30分ころ、東武春日部駅東口。
 交通：往復貸切バス(中型)を利用。
 担当：入山、近藤、佐野、藤澤
 費用：9,000円(バス代、昼食代、保険料等)
 過不足の場合は当日清算。
 定員：33名(最少催行人数20名)
 申し込み：往復はがきに住所、氏名、電話番号を明記して入山博()まで。1月1日消印より受付開始。
 見どころ：カモメはダメという人でも大丈夫！
 ワーワー言いながら凶鑑片手に参加者全員で識別の勉強をしましょう。昼食は、地魚料理を堪能します。帰りに浮島に寄ってチュウヒの罫入りを見る予定です。
 その他：昼食付です。雨天決行。防寒の対策をお願いします。

◇10月19日、ノビタキ3羽(長嶋宏之)。

川口市赤山 ◇10月16日、赤山城跡でカケスの声がにぎやか。ホオジロの囀り(藤原寛治)。

鴻巣市屈巢(54391401) ◇10月17日、川里中央公園付近のヨシ原にてニュウナイスズメ20数羽、今季初認。昨年は10月21日が初認なので、4日早い(相原修一)。

さいたま市桜区秋ヶ瀬公園近くの林 ◇10月17日、ツツドリ赤色型1羽、幼鳥1羽(海老原教子)。

さいたま市桜区桜草公園 ◇10月17日、喉がほんのり赤いタイプのノゴマ♀1羽(海老原教子)。

表紙の写真

ハヤブサ目ハヤブサ科ハヤブサ属コチョウゲンボウ幼鳥 2018年1月6日午前7時30分頃、川越市郊外。やはり一期一会でした。
田口勝利(さいたま市)



行事案内



オオタカ(編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

持ち物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。実際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1月4日(金)

集合：午前 10 時 10 分、さぎ山記念公園入口。

交通：大宮駅東口⑦番バス乗り場 9:28 発「浦和学院高校」行き、または東浦和駅③番バス乗り場 9:37 発「さいたま東営業所」行きで、「さぎ山記念公園」下車。

担当：浅見(徹)、海老原、宇野澤、大井、楠見、工藤、小林(み)、新部

見どころ：新年最初の探鳥会。富士山と鷹が見られたら、あなたの今年の運勢は“吉”。

恒例の野外懇親会はありません。

戸田市・彩湖探鳥会

期日：1月5日(土)

集合：午前 9 時 30 分 荒川彩湖公園駐車場

交通：JR 武蔵野線南浦和 8:46→西浦和 8:51 西浦和駅から集合地まで担当が案内します。

担当：小林(み)、石塚(敬)、石塚(真)、今村、野口、藤田

見どころ：海から近い彩湖には、意外なお客様が来る 경우가。みんなで探しましょう！

深谷市・仙元山公園探鳥会

期日：1月5日(土)

集合：午前 9 時、JR 高崎線 深谷駅南口ロータリー。

担当：新井、鶴飼、小淵、倉崎、田島

見どころ：毎年トラツグミはやってきます。

当日会えるかどうかは皆さんの運次第。

松伏町・まつぶし緑の丘公園探鳥会

期日：1月6日(日)

集合：午前 9 時、松伏町まつぶし緑の丘公園管理棟前。

交通：東武伊勢崎線 せんげん台駅東口、茨急バス③番乗り場から松伏町役場行き 8:48 発で「まつぶし緑の丘公園」下車。

担当：橋口、植平、佐藤(宏)、佐野、進士、山部

見どころ：公園の池にカモ 7 種。古利根川では、いつものイカルチドリ、イソシギなど。

久喜市・久喜菖蒲公園探鳥会

期日：1月10日(木) 平日

集合：午前 9 時 15 分、久喜菖蒲公園駐車場。

交通：JR 宇都宮線 白岡駅西口から朝日バス 菖蒲仲橋行き 8:36 発で、「除堀(よけぼり)」下車、徒歩約 15 分。除堀バス停からご案内します。

担当：長嶋、石川、大坂、佐藤(宏)、竹山、中川、吉原(俊)、渡邊

見どころ：去年はホオジロガモ早など、カモ類 10 種。今年はそのカモも加えて 11 種？

千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日：1月12日(土)

集合：午前 9 時 30 分、ふなばし三番瀬海浜公園バス停留所付近。(ご注意：JR 船橋駅での受付はしません。)

交通：JR 武蔵野線 南浦和 7:46→西船橋で総武線 8:39 に乗換え、船橋 8:42 着。京成バ

ス 9:00 発 船橋海浜公園行きに乗車し、終点下車。京成バス乗り場は京成船橋駅付近にあります。リーダーがご案内します。

担当:菱沼(一)、佐久間、佐野、杉本、菱沼(洋)、渡邊

見どころ:埼玉で見られないミュビシキ、ミヤコドリを観察。黒いカモに会えるカモ?

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日: 1月13日(日)

集合:午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。

★集合時刻が10分遅くなりました。

交通:秩父鉄道 熊谷9:21発、または寄居8:59発に乗車。

担当:千島、新井、鶴飼、大畑、倉崎、田島、飛田、中川、村上(政)、茂木

見どころ:ジョウビタキ、カシラダカ、アオジ、ベニマシコ、ハヤブサ。河原でクサシギ、イカルチドリ。野鳥の森にルリビタキ。

さいたま市・民家園周辺臨時探鳥会

期日: 1月13日(日)

集合:午前9時、浦和くらしの博物館民家園 駐車場、念仏橋バス停前。

交通:JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き8:37発で「念仏橋」下車。

担当:伊藤、大井、須崎、高崎、手塚、野口、藤田、若林

見どころ:調節池の水鳥達、周辺の草地の小鳥達にも大注目! 猛禽類も期待。

ご注意:コース途中にトイレがありません。風を遮るものが無いので、防寒対策を。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日: 1月14日(月・祝)

集合:午前9時20分、森林公園南入口前。

交通:東武東上線 森林公園駅北口から熊谷駅南口行きバス 9:00 発で「滑川中学校」下車、歩道橋を渡り少し戻る。

費用:参加費と入園料大人450円、中学生以下無料、65歳以上210円(要年齢確認)。

担当:鈴木(秀)、大坂、大畑、佐久間、内藤、中村(豊)、藤掛、藤澤、松下

見どころ:南口から山田大沼辺りを歩きます。池の水鳥や林の小鳥を中心に探します。解

散後の昼食・雑談と、帰り道の鳥見も期待。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日: 1月14日(月・祝)

集合:午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。

交通:東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り場から春日部エミナース行き 8:41 発で、「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約7分。

担当:石川、佐藤(宏)、佐野、進士、橋口

見どころ:ツグミ、シロハラ、アカハラ、ジョウビタキ、タヒバリ、シメ、カシラダカらの冬鳥に期待(途中、トイレ休憩あり)。帰りのバス:朝下車したバス停の反対車線のバス停発 13:07、14:20 (11月現在)。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日: 1月19日(土)

集合:午前8時10分、東武日光線 柳生駅前。

または午前8時30分、中央エントランス 駐車場。

交通:東武線 新越谷 7:19→春日部 7:36→南栗橋で新栃木行きに乗り換え柳生 8:07 着。または JR 宇都宮線 大宮 7:03→栗橋 7:38 着、東武線新栃木行き 7:57 発に乗り換え柳生 8:07 着。

解散:正午ころ、谷中村史跡ゾーン。

担当:佐野、入山、植平、佐藤(宏)、進士、野口、山田

見どころ:遊水地が最も賑やかな季節。谷中湖やヨシ原でカモや冬の小鳥、猛禽を探します。防寒対策は万全に。

埼玉 Young 探鳥会 加須市・渡良瀬遊水地

期日: 1月19日(土)

集合:【電車の方】13時、東武日光線 板倉東洋大前駅東口。【車の方】13時20分、渡良瀬遊水地 想い出橋駐車場

解散:17時ころ、渡良瀬遊水地内(解散後、駅まで先導します)。

担当:廣田、石塚(敬)、石塚(真)、市原、大林、河邊、島崎、高崎、村上(将)

見どころ:冬の小鳥たちと猛禽類を探し、夕方からはチュウヒのねぐら入りを観察。若

者、家族連れ、初心者の方々の参加をお待ちしています。

ご注意：①極寒期なので、寒さ対策をしっかりとお願いします。②解散後は暗くなっていますので懐中電灯等をご持参ください。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：1月19日(土) 午後3時～4時ころ
会場：会事務局 108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：1月20日(日)
集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
交通：JR 北浦和駅東口、正面信号を左側から渡り、50m先左手バスターミナルから8:23発東武バス「さいたま市立病院行」で終点下車。
後援：さいたま市立浦和博物館
担当：浅見(徹)、青木、楠見、小菅、小林(み)、須崎、新部、畠山
見どころ：川辺と田んぼで、里の冬鳥を探します。ツグミ、シメ、モズ、タヒバリなど。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：1月24日(木) 平日
集合：午前9時、羽生水郷公園北駐車場。
交通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート(ムジナもん号)を利用。東武伊勢崎線 羽生駅東口8:04発→南羽生駅8:21発→「キャッセ羽生・水郷公園」下車、県道を渡り公園へ。
共催：羽生水郷公園管理事務所
担当：相原(修)、相原(友)、新井、植平、竹山、飛田、中川、茂木
見どころ：ヨシ原でオオジュリンやベニマシコ、水辺で繁殖羽のカモたち。タカ類も。
ご注意：帰りのバスは14:50発です。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：1月26日(土)
集合：午前9時、環境学習館前。
交通：JR 宇都宮線 蓮田駅東口から朝日バス8:50発国立東埼玉病院行きで「新井団地」下車。バス停からご案内します。
担当：長野、青木、石井(健)、内田、小林(み)、

田中、長嶋、菱沼(一)、菱沼(洋)、廣田、星野

見どころ：冬鳥の最盛期の黒浜沼周辺で様々な環境で過ごす野鳥を観察しましょう。
ご注意：車で来られる方は、出発地点の環境学習館ではなく、北側にある“緑のトラスト保全第11号地 黒浜沼駐車場”(環境学習館まで徒歩1分)を利用してください。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：1月27日(日)
集合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。
交通：西武新宿線 本川越8:42発、所沢8:39発に乗車。
解散：正午ころ、稲荷山公園。
担当：長谷部、石光、佐藤(久)、島崎、鈴木(秀)、高草木、中村(祐)、藤掛、星、水谷、山口、山本
見どころ：年6回のうち最も多くの鳥に会える1月です。青い鳥3種を探しましょう。

長瀨町・長瀨探鳥会

期日：1月27日(日)
集合：午前9時50分、秩父鉄道 長瀨駅前。
交通：秩父鉄道 御花畑8:59発、または寄居9:33発(熊谷9:01発)に乗車。
担当：井上、石塚(敬)、鶴飼、小林(み)、佐久間、佐野、堀口、松下
見どころ：昨年はイカルの群れなど観察種は38種類。長瀨駅から荒川下流・水管橋へ歩くコースで、蓬萊島公園には駐車場とトイレあり。公園内のベンチで弁当を食べられます。コンビニ、飲食店はありません。
お知らせ：「ビギナー探鳥会」を同時開催。

戸田市・彩湖探鳥会

期日：1月31日(木) 平日
集合：午前9時30分 荒川彩湖公園駐車場
交通：JR 武蔵野線南浦和 8:47→西浦和 8:53 西浦和駅から集合地まで担当が案内します。
担当：小林(み)、浅見(徹)、今村、藤田
見どころ：冬の間は毎月実施の彩湖探鳥会ですが、今年は1月に2回で、2月はありません。鳥たちの季節はどれだけ進んだ？
※6ページにはみだし行事案内があります。



行事報告

9月16~17日(土~日) 長野県 白樺峠と上高地

参加：23名 天気：16=曇、17=雨後晴

白樺峠：キジバト アオバト カワウ ハリオアマツバメ アマツバメ ハチクマ トビ ツミ サシバ ノスリ コゲラ コガラ シジュウカラ ツバメ イワツバメ ゴジュウカラ スズメ キセキレイ (18種) 上高地：マガモ コガモ キジバト カワウ アオサギ トビ コゲラ アカゲラ アオゲラ カケス ハシブトガラス キクイタダキ コガラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ウグイス エナガ メボソムシクイ センダイムシクイ ゴジュウカラ キバシリ ミソサザイ カワガラス ルリビタキ ノビタキ エゾビタキ サメビタキ コサメビタキ キビタキ オオルリ キセキレイ セグロセキレイ ホオジロ (34種) 上田駅から白樺峠を目指す。白樺峠では、曇空だが絶えず5羽位のサシバやハチクマの群れが頭上を渡って行く。タカ柱が見られなかったのが少し残念だった。夜は、宿自慢のキノコ料理で舌鼓！ 秋の味覚を堪能した。2日目、大正池から河童橋までは観光…の予定が、次々と出てくる小鳥類のウォッチング！ 田代湿原では、四方八方からヒタキ類が飛んできて1時間位移動できない状態で参加者全員大喜び。充実した2日間を過ごす事ができた。(入山 博)

9月24日(月、振休) 夕方の渡り調査・天覧山

ボランティア：27名

浅見徹、新井昭三、石光章、加藤誉至、加藤悦子、小出博、小貫正徳、小林みどり、佐久間博文、鈴木秀治(担当)、武田清子、千葉典子、千葉秀男、鶴田克己、西久保勝己、西久保秀子、野口修、野沢六治、橋本清、平野晃司、古川教子、古戸明美、星進、水谷真人、湯本貴光、吉原早苗、吉原俊雄

10月7日(日) 北本市 石戸宿

参加：47名 天気：晴

キジ マガモ カルガモ ハシビロガモ シマアジ コガモ カイツブリ キジバト アオサギ

トビ サシバ ノスリ カワセミ コゲラ アカゲラ モズ カケス ハシブトガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ エゾビタキ コサメビタキ キビタキ スズメ (27種) (番外：ガビチョウ) 赤トンボが群れ飛び、モズが高鳴きし、すっかり秋の気配。ところが予報は34℃。暑さを考慮したコース短縮の可能性を説明してスタート。例年より遅れて9月も中旬に入って漸くちらほら咲き出したミゾソバ、ワタラセツリフネソウ、キツリフネも満開。トビ3羽が青空高く滑空で南下して行ったのは渡りだろう。エゾビタキ、コサメビタキが出入りする木を観察。サシバが2羽。高尾の池では、コガモの中にシマアジ2羽。暑かったので風が通り抜ける場所では、涼しさが心地良かった。(吉原俊雄)

10月7日(日) さいたま市 民家園周辺

参加：67名 天気：晴

コジュケイ ヒドリガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アマサギ アオサギ ダイサギ コサギバン オオバン ツツドリ オオタカ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ カケス ハシブトガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ムクドリ スズメ ハクセキレイ ホオジロ (30種) (番外：ドバト) 季節外れの暑さとなった。集合と同時にチョウゲンボウが鉄塔から飛翔し、開会が遅れるほどだった。期待のノビタキは顔を見せず、ツツドリも気まぐれな登場だったが、モズは高鳴きで私達を歓迎、カケスが何度もヒラリヒラリ、そしてヒヨドリが群れで渡りの姿を見せてくれた。途中、オオタカが秋空を舞い、調節池のサギやカモの識別に集中していると暑さを忘れることができた。(大井智弘)

10月13日(土) 東京都 東京港野鳥公園 Young

参加：14名 天気：曇

ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ シマアジ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオバン セイタカシギ イソシギ トウネン ハマシギ トビ オオタカ カワセミ オナガ ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ムクドリ スズメ ハクセキレイ (31種) 野鳥画家の神戸宇孝

氏を講師に、バードスケッチ会を開催。前半はレンジャーより公園の歴史と概要、神戸氏よりスケッチのポイントについて解説していただいた。後半はスケッチ。肌寒い日となったが、室内からも野鳥が観察でき、快適にスケッチを行えた。最後は各自のスケッチのお披露目会。(廣田純平)

10月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 43名 天気: 曇

コジュケイ カルガモ キジバト カワウ バン ノスリ コゲラ アカゲラ ハヤブサ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (23種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 土手に上がると梢でモズが鳴き、ハクセキレイやメジロが飛んだ。ゴルフ場の池にバン、カルガモ。コジュケイ、カケスが鳴き、ゴルフ場の端で鉄塔にとまっているハヤブサを観察。上空で帆翔するノスリもじっくり観察。野鳥の森ではヤマガラの声を聞きコゲラを見て、草地でカワラヒワ、セグロセキレイが飛んだ。(千島康幸)

10月20日(土) 加須市 渡良瀬遊水地

参加: 51名 天気: 晴

キジ マガン オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン ツツドリ イソシギ ユリカモメ セグロカモメ ミサゴ トビ チウヒ ノスリ カワセミ コゲラ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ ムクドリ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ オオジュリン (43種) (番外: ドバト) 広い谷中湖にカモはまだ少なく、遠くにいるものまで必死にさがしていると、「これ、でかくないですか?」の声。よくみるとマガンだった。これを含めてカモ科は8種を確認。猛禽類ではミサゴやハヤブサ、ヨシ原のチウヒも良かった。(佐野和宏)

10月20日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 9名

榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、

志村佐治、藤掛保司、三ツ矢正安、吉原早苗、吉原俊雄

10月21日(日) さいたま市 三室地区

参加: 63名 天気: 晴

カルガモ コガモ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオタカ ノスリ カワセミ チョウゲンボウ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ メジロ ムクドリ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ (26種) (番外: ドバト) 9月から続いた長雨も一段落。スタート時は、空気もヒンヤリして秋らしい雰囲気だった。今回はノビタキをメインにして探したが、残念ながら観察できなかった。その代わりに、カケスやジョウビタキが登場。異常気象が騒がれたが、季節は確実に廻っている事を実感した探鳥会となった。(須崎 聡)

10月27日(土) 行田市 さきたま古墳公園

雨のため中止。

(相原修一)

10月27~28日(土~日) 長野県 戸隠高原

参加: 19名 天気: 27=雨後晴、28=晴

キジ オシドリ ヒドリガモ カルガモ キジバト カワウ トビ ツミ オオタカ ノスリ コゲラ アカゲラ アオゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス キクイタダキ コガラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ ゴジュウカラ キバシリ ミソサザイ カワガラス ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ アトリ マヒワ イカル ホオジロ カシラダカ アオジ (38種) 植物園に着いた時に降っていた小雨は、まもなくやんで薄日が差してきた。鏡池に向かうが鳥影が少なく、ようやくアカゲラ、カシラダカ、アトリを観察。鏡池ではオシドリが見られ猛禽類も上空を舞う。隋神門近くのイチイでおなじみのヤマガラ、小鳥の小道の分岐でアオゲラが見られたが、お目当てのマミチャジナイ、ムギマキは見られなかった。翌朝は宿周辺で探鳥、朝日で紅葉が輝き素晴らしかった。宿近くで、至近距離でカケス。朝食後に植物園へ。ツグミ類の姿が全く見られなかった。こんなことは初めて。牧場ではカワガラスを久しぶりに観察した。(菱沼一充)



●みめま秋フェス 2018 in さぎ山に出展

さいたま市見沼田圃政策推進室が事務局をつとめる「見沼・さぎ山交流広場」主催で、11月3日(土)-4日(日)の2日間緑区のさぎ山記念公園で開催されたイベントにブースを出展しました。

見沼たんぼの農産物直売、見沼たんぼクイズラリーなど様々な催しが行われる中、役員リーダー延べ 25 名と本部からのお手伝い 2 名が、野鳥の会グッズ販売や親子探鳥会(参加人数約 20 名)で、会の活動を P R しました。

●神奈川支部の研究年報「BINOS」第 25 集

【論文】こまたん：大磯町高麗山におけるタイマー録音によるアオバトの鳴き声調査一鳴き声回数の季節推移と幼鳥のオアオ鳴きについての考察 【観察記録】加藤ゆき：神奈川県真鶴町におけるクロサギ幼鳥の観察記録 など。会員の投稿を中心に編集。

【価格】1,200 円 (送料 300 円)。【発行部数】300 部。神奈川支部のホームページから購入できます。

●ご注意！ ただ今狩猟期間中

毎年 11 月 15 日から翌年 2 月 15 日までが狩猟期間。イノシシまたはニホンジカは 3 月 15 日まで狩猟できる市町村がありますが、延長期間の猟法はわな猟に限られますので、銃による誤射の危険があるのは、2 月 15 日までです。

行方が分からなくなった犬を探していた人を、目視もしないで藪越しに発砲した死亡事故もあったとのこと。銃猟が行われる所には近寄らないのが一番です。「埼玉県鳥獣保護区等位置図」で検索して、銃猟が行われる

地域を確認してください。どうしてもその地域に入らなければならない時は目立つ服装で、視界の開けた場所で行動し、遠くでも銃声が聞こえた場合は、直ちに撤退してください。

●会員数は

12 月 3 日現在 1,596 人です。

活動と予定

●11 月の活動

11 月 10 日(土) 12 月号校正作業(海老原教子、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、長嶋宏之、藤掛保司。9 日(金)と 11 日(日)に海老原美夫も)。

11 月 18 日(日) 役員会(司会：相原修一、行事予定の追加など)。

11 月 19 日(月) 『野鳥』誌と同封発送しない会員向け、『しらこぼと』12 月号を郵便局から発送(海老原美夫、山部直喜)。

●1 月の予定

1 月 5 日(土) 編集部会。

1 月 6 日(日) 越谷市内で出張普及部会。

1 月 12 日(土) 2 月号校正(午後 4 時から)。

1 月 19 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

1 月 20 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

「ごめんなさいコーナー」が多すぎると編集後記に書かれた 12 月号でミスをしました。中間平のタカの渡り調査参加者に担当の千島康幸さんの名前を入れ忘れていたのです。ごめんなさい。そういうことが今後生じないように、本号の天覧山の報告からは、担当者がかかる書き方に変更しました。(森本)

しらこぼと 2019 年1月号(第 418 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org
住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
(公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社